

初めての運動会

～親子で遊ぼう『ミニミニオリンピック』～

11月28日(金)、婦人センターで『親子で遊ぼう～ミニミニオリンピック～』（市主催）が開催されました。

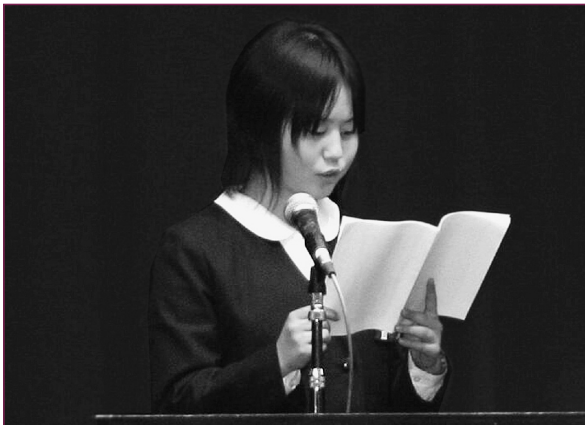
この催しは、楽しい運動遊びを通して、親子のコミュニケーションや体力づくりを図ってもらおうと、登別子育て支援センターが行っているもので、1歳から小学校入学前までの子どもとその保護者35組67人が参加しました。

参加者は、手遊びと体操で体をほぐした後、紅白に分かれて、『かけっこ』やお母さんに引っ張ってもらっての『大事なものはナーに』『障害物競走』『パンくい競争』『玉入れ』など7種目の競技に挑戦。中には、途中で泣き出してしまい、お母さんに連れられてなんとか完走している子どもや、競技そっちのけで勝手に走り回っている子どもなどもあり、会場は子どもたちの元気な声と保護者の声援で熱気に包まれていました。



読書は心の成長のビタミンです！

～平成20年度小・中学生読書感想文・読書感想画コンクール～



▲中学生の部優秀作品になった大家佳子さん（幌別中学校）の朗読の様子

12月13日(土)、市民会館で『小・中学生読書感想文・読書感想画コンクール入選者表彰式』（市主催）が行われ、感想文と感想画を合わせて464点の応募作品の中から、69点が入選しました。

このコンクールは、読書離れが進む中、子どもたちに読書の楽しさと大切さを知ってもらおうと、市内の小・中学生を対象に毎年実施されています。

表彰式の最後には入選作品の中から、小学生の部3人、中学生の部1人が約300人の聴衆の前で朗読発表を行いました。

入選作品のどれからも、生きることの大切さ、家族愛、友人との絆を深く思いやるやさしさがあふれ出ており、心の成長に読書は欠かせないものであると静かな感動が広がる表彰式でした。

身近でできる地球に優しいこと

12月7日(日)、ふおれすと鉾山で『第14回森からつながる環境保全勉強会③「暮らしからみる地球温暖化」』（ふおれすと鉾山主催）が開かれ、12人が参加しました。

この催しは、森からつながる環境保全の勉強会の3回目。今回は北海道地球温暖化防止活動推進員の岡崎朱実さんを講師に招き、より身近な暮らしからみる地球温暖化についての勉強会を行いました。

最初に地球温暖化についておさらいを行い、「北海道の二酸化炭素の排出量は、家庭での割合が全国に比べて高いので、家庭での二酸化炭素の排出をできるだけ抑えましょう」と説明。次に調理室に移動して、省エネでおいしく調理できる保温調理の仕方を、実際におでんを作りながら実践。ちょっと沸騰させて、保温して出来上がったおでんに、「こんなに美味しくできるんだね」と参加者は感心していました。

～第14回森からつながる環境保全勉強会③

『暮らしからみる地球温暖化』～



▲保温調理の実践